

2019年3月期 第1四半期決算の概要

2018年8月6日



興銀リース株式会社

本資料には現時点で入手している情報に基づき当社が判断した将来の予測数値が含まれておりますが、一定のリスクや不確実性が含まれており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。将来に関する事項については様々な要因により変動することがありますので、ご留意下さい。

● 2018年度第1四半期の総括

- ✓ 差引利益は前年同期比で12億円増加し、124億円を計上
営業利益以下も大幅増益
- ✓ 親会社株主に帰属する四半期純利益は42億円を計上し、
四半期ベースで過去最高の実績
 - － 通期予想に対しても順調な進捗

(単位：億円)

	16年度 1Q	17年度 1Q	18年度 1Q	増減額	増減率	18年度 通期予想*	進捗率
売上高	770	942	854	▲88	▲9%	4,200	20%
差引利益	105	112	124	+12	+11%	—	—
営業利益	49	47	55	+8	+17%	200	28%
経常利益	53	50	65	+15	+30%	214	30%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	36	34	42	+8	+27%	145	29%

*2018年5月9日公表

● 決算概要

(単位：億円)

	16年度 1Q	17年度 1Q	18年度 1Q	増減額	増減率
売上高	770	942	854	▲88	▲9%
差引利益	105	112	124	+12	+11%
(資金原価)	(14)	(17)	(20)	+3	+21%
売上総利益	91	95	104	+9	+9%
(信用コスト)	(▲9)	(▲2)	(▲5)	▲3	—
営業利益	49	47	55	+8	+17%
経常利益	53	50	65	+15	+30%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	36	34	42	+8	+27%

POINT

■ 差引利益は順調に増加

■ 資金原価の増加は外貨借入増によるもの

■ 信用コストは戻入超過が継続

■ 大幅に増加し、四半期ベースで過去最高の実績

	17/3末	18/3末	18/6末	増減額	増減率
営業資産残高	16,087	16,830	18,229	+1,399	+8%
純資産	1,418	1,546	1,556	+10	+1%
自己資本比率	7.8%	8.2%	7.7%	▲0.5pt	—

■ 良質な営業資産を積み上げ

■ 18/3期末配当の実施等により純資産は微増

(単位：億円)

	16年度 1Q	17年度 1Q	18年度 1Q	増減額	増減率
契約実行高	2,548	3,108	3,981	+873	+28%
リース・割賦	966	1,008	1,239	+231	+23%
ファイナンス	1,583	2,100	2,742	+642	+31%
その他	—	—	—	—	—

(単位：億円)

	17/3末	18/3末	18/6末	増減額	増減率
営業資産残高	16,087	16,830	18,229	+1,399	+8%
リース・割賦	10,881	11,222	11,608	+386	+3%
ファイナンス	5,206	5,569	6,582	+1,013	+18%
その他	—	39	38	▲1	▲1%

	16年度 1Q	17年度 1Q	18年度 1Q	増減
差引利益率	2.71%	2.79%	2.83%	+0.04pt

(注) 差引利益率 = 差引利益(年換算値) ÷ 営業資産(平均残高)

POINT

■ 契約実行高は前年同期比28%の増加

- ・「リース・割賦」で産業・工作機械や商業・サービス業用機器への取り組みが伸長
- ・「リース・割賦」、「ファイナンス」とともに不動産のブリッジ案件が増加

■ 契約実行高の増加に伴い、営業資産残高は前年度末比8%増加

■ 差引利益率は着実に上昇

● 契約実行高／リース・割賦セグメント

機種別契約実行高

POINT

(単位：億円)

	16年度 1Q	17年度 1Q	18年度 1Q	増減額	増減率
産業・工作機械	247	246	324	+78	+32%
情報通信機器	173	195	148	▲47	▲24%
輸送用機器	99	118	137	+19	+17%
土木建設機械	54	89	90	+1	+1%
医療機器	33	48	48	+0	+1%
商業・サービス業用機器	72	72	116	+44	+61%
事務用機器	23	24	18	▲6	▲25%
その他	265	216	357	+141	+66%
内) 不動産	215	97	301	+204	+212%
合計	966	1,008	1,239	+231	+23%

■ 良質な案件の取り込みが寄与

■ 前年同期に大口スポット案件の実行があったため減少

■ 大口案件の成約に加え、ホテル、ヘルスケア分野での取り組みが拡大

■ 良質なブリッジ案件の増加が主因

● 契約実行高／ファイナンスセグメント

契約実行高

(単位：億円)

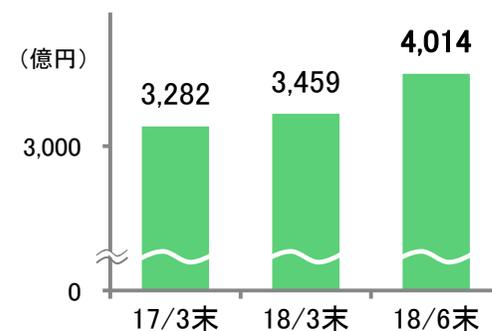
	16年度 1Q	17年度 1Q	18年度 1Q	増減額	増減率
商流ファイナンス・ 融資等	1,179	1,970	2,049	+79	+4%
航空機	38	58	64	+6	+11%
不動産	325	40	561	+521	—
船舶	41	32	67	+35	+111%
合計	1,583	2,100	2,742	+642	+31%

POINT

■ 商流ファイナンスが着実に増加

■ 良質なブリッジ案件を取り組み

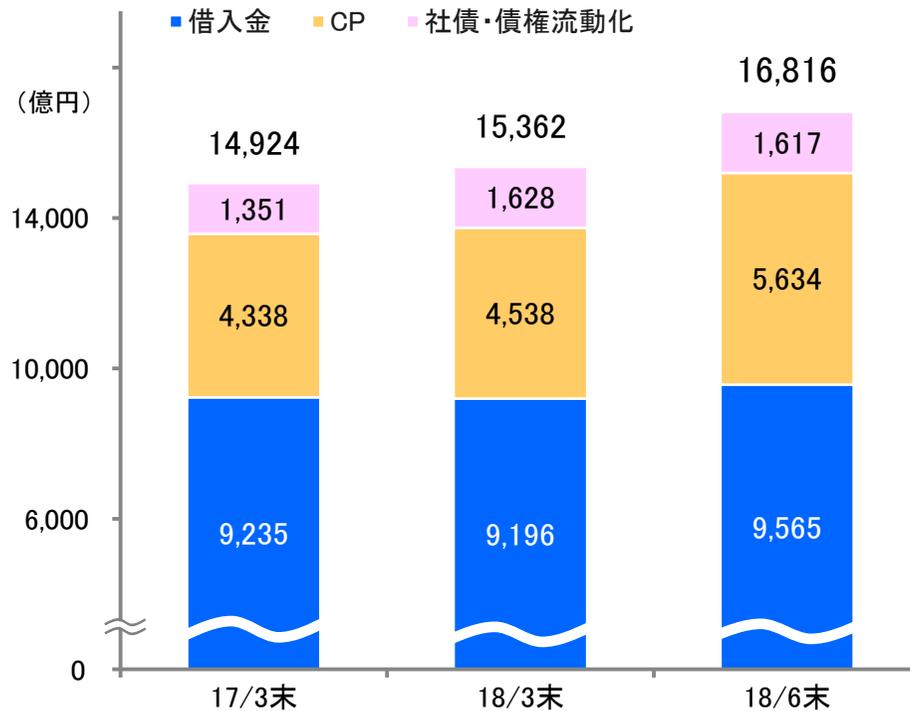
*商流ファイナンス・融資等の残高



● 資金調達等の状況

- 有利子負債残高は営業資産の増加に伴い、前年度末比増加
- 資金原価率の上昇は前年同期比での外貨借入増によるもの

有利子負債残高



資金原価(率)

	16年度 1Q	17年度 1Q	18年度 1Q
資金原価 (億円)	14	17	20
資金原価率	0.36%	0.42%	0.46%

(注) 資金原価率 = 資金原価(年換算値) ÷ 営業資産(平均残高)

● 業績予想及び配当

- 親会社株主に帰属する当期純利益は、年度の利益計画に対して進捗率29%
- 2018年度の年間配当金は、前年度比4円増加の74円と17期連続で増配を予定

(単位：億円)

	2017年度 (実績) ①	2018年度 (予想) ②		増減額 ②-①	増減率 ②/①	
		1Q実績	進捗率			
売上高	3,997	4,200	854	20%	+203	+5%
営業利益	192	200	55	28%	+8	+4%
経常利益	200	214	65	30%	+14	+7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	136	145	42	29%	+9	+6%

年間配当金	70円	74円	+4円
中間配当金	32円	36円	+4円
期末配当金	38円	38円	±0円

配当性向	21.9%	21.8%
------	-------	--------------